

UDデジタル教科書体 の特長

- 見やすく、読みやすく、さがしやすい!
- 筆の運びがわかりやすい!
- 学力向上にも効果あり!

明朝体

学習が進む字
さがしやすく

ゴシック体

学習が進む字
さがしやすく

教科書体

学習が進む字
さがしやすく

UDデジタル教科書体

学習が進む字
さがしやすく



・学習指導要領に準じた形状
・太さの強弱を抑え、多様な子どもたちの見え方に配慮
・ICT教育で効果を発揮

・全体に細く、ICT教育に不向き
・太さの強弱やとがった部分が子どもによってストレスになる

教科書体(手書き)との違い

- 画数が異なる
- 形状が異なる
- 運筆がわかりにくい

UDデジタル教科書体の 有効性が実証されています

UDフォントがどれほど有効であるかを確認するため、株式会社モリサワと共同で2月14日(木)に小学生116名とともに実験を行いました。

● 実験結果

	UDフォント	一般的な教科書体
平均回答数	29.5問	24.0問
36問全問到達者	30名	4名
全36問中の正答率	81%	66%

実験の結果、UDフォントの方が、正確さを保ちながら読めることが実証されました。UDフォントは、児童にとって分かりやすく読みやすい文字であることが分かります。

奈良県生駒市 平成31年3月26日 記者会見資料より部分転載
<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000016974.html>

注目が集まるUDデジタル教科書体

▶字を読みやすくすることで誤読を減らそうと開発された、ユニバーサルデザイン(UD)のフォント(書体)を教育現場で活用する動きが広がっている。読み書きに困難がある子どもの助けになるだけでなく、学力向上にもつながると期待されている。

▶弱視の専門家による研究なども踏まえて開発したUDデジタル教科書体の場合は、手書きに近い教科書体の長所を生かしつつ、文字の太さの強弱を抑えたり、「す」などにあるループを大きくしたりした。文字の先端がとがっているとストレスを感じることもある発達障害の子に配慮し、はらいやはねの先端は丸めた。

▶この春に文部科学省の検定を終え、2020年度から小学校で使われる教科書にも、UDフォントが登場する。

朝日新聞夕刊 2019年8月7日(水)記事 「みんなが読める! UDフォント」より部分転載